

松原市 防災まちづくり方針

区域面積： 16.60km²

人口： 132,223人

計画の概要

策定年次 平成16年 3月

松原市は高度成長期に大阪市の近郊の住宅地として発展をしたが、市街地の整備が遅れているなど、住環境や防災の面で課題のある地区がある。

地震などの災害に強いだけでなく、快適に暮らしやすく愛着を持って住めるまち、みんなの協力で災害を乗り越えるコミュニティやネットワークに支えられたまちを目指して「安全・安心の環境をみんなで作る防災まちづくり」を進めていくために計画を策定する。

計画の柱

1. 災害に強いまちづくり

防災都市基盤の整備

- 骨格道路の整備
- 防災拠点の整備

木造密集市街地の整備

- 建物の不燃化、耐震化
- 身近な道路や公園などの整備、古い住宅の建替え促進
- 生活道路の整備

防災上安全な建物の誘導

- 町のルールづくり(地区計画)
- 狭あい道路の整備

建物の防災対策

2. 地域防災力の向上

自主防災体制の整備

- 自主防災組織の育成
- 事業所による自主防災体制の整備

ボランティアの活動環境の整備

- ボランティア協力依頼体制の整備

3. 防災まちづくりの進め方

住民の組織づくりの支援

- 住民自らのまちの診断
- 町の将来像の共有

